

第 146 南極特別保護地区管理計画

パーマー群島、ドゥメール島のサウス湾

i. 本地区の記述

(1) 地形

ドゥメール島はノイマイヤ海峡入口の南西に位置し、ウイエンケ島とはペルティエ海峡を隔てたところにある。サウス湾はドゥメール島の南岸にある。本地区は、海岸と深さ 45m の潮下帯のベントス生息域である。その範囲は、北は南緯 64 度 51 分 42 秒で、西経 63 度 34 分 00 秒と西経 63 度 35 分 20 秒の間にあり、南はサウス湾南部の海岸にある小屋 (Sub-base Yelcho) の北約 100m の地点から南緯 64 度 51 分 58 秒、西経 63 度 34 分 00 秒の地点までの対角線である。境界は地図に示したとおりである。

(2) 生物

海底の表面は 4 つに分類できる：深さ 0～30m の範囲で藻類が生育している岩場、深さ 30～110m の範囲で藻類・シルト・大量の海綿が覆う岩の多い場所、深さ 100～150m の範囲でほとんどは泥が堆積し海綿混じりの岩が若干見られる場所、深さ 150～200m の範囲でシルトと泥からなるやわらかい場所である。最後の場所は、最深部の窪地で、本地区のすぐ外側にある湾中央付近に位置する。大型のベントスは深くなるにつれて豊かになり、斜面の険しい海底で最も多い。氷洗掘は動物ベントスの分布パターンや生息数に大きな影響を及ぼしている。アザラシ、特にウェッデルアザラシ (*Leptonychotes weddellii*) は、ここの場所を餌場としている。シャチ (*Orcinus orca*) やザトウクジラ (*Megaptera novaeangliae*) のようなクジラ類が湾内に入ってくる。本地区内では見られる多くの海鳥は一時的である。

ii. 指定の理由

本地区は、海洋生態学に関する長期研究プログラムの対象となっており、これらの研究の障害となるような事故のリスクをできる限り小さくするために指定されたものである。

iii. 研究の概要

研究には、本地区内の海洋生物の関連調査が含まれる。これは 1972 年のスキューバダイビングで始まったものである。1981 年より構造や機能を解明するための高度な実験が進められており、今後も継続される予定である。

iv. 指定解除期日

1997 年 12 月 31 日

v. 立入地点

立入地点は指定されていないが、この地域を自由に航行する船は規制を受けない。

vi. 歩行用・車両用ルート

適用外。

vii. 有害な干渉を与える可能性がないその他の科学調査

ベントス生息域や生物群集を攪乱しないその他の科学調査。

viii. 科学的サンプリング

科学的目的を達成する場合のみ、ベントス生息域からのサンプリングを行うことができる。

ix. その他の制限

船舶からの廃棄物の投棄や底引きは避けること。投錨は、回避不可能な状況な場合を除き避けること。



